

インクルーシブ教育実践推進校について

神奈川県教育委員会では、平成28年度から始まった県立高校改革において、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)を3校指定して、取組を進めてきました。平成32年度(2020年度)4月入学生から、県内すべての地域から通えるように、インクルーシブ教育実践推進校を新たに指定します。

【かながわのインクルーシブ教育の推進】

神奈川県では、共生社会[※]の実現をめざして、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進しています。

※共生社会：すべての人が、相互に、人格と個性を尊重し、支え合い、生き生きと生活できる社会。

【インクルーシブ教育実践推進校の取組】

(1) 学校生活全般

すべての生徒が、共に学ぶことを通じて、集団の中で互いを理解しながら、社会性・思いやりの心を育みます。

●具体的な取組

ア 40名程度の同じクラスで、みんなで授業に取り組みます。

イ 教科等の学習、学校行事、生徒会活動、部活動など、毎日の学校生活全般を共に過ごします。

(2) 教科等の学習

各高校が行っている教育課程を基本とし、生徒一人ひとりの状況に応じて必要な配慮を行いながら、知識や技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性等を育みます。

●具体的な取組

ア すべての生徒が共に学べるよう、誰にとっても取り組みやすく工夫された授業を行います。

イ 生徒の状況に応じて、チーム・ティーチング・習熟度別少人数の学習、リソースルームを活用した個別学習等、多様な形で学習を行うこともあります。

ウ 一人ひとりの頑張りや成長を認め、個人の学習目標が達成されたかどうかという「個人内評価」も活用しながら、学習評価をします。

(3) キャリア教育

卒業後の自己実現と円滑な社会接続に向けて、3年間をとおして充実したキャリア教育を行い、社会で必要となる能力の向上をめざします。

●具体的な取組

ア 各学校の特色に応じて、将来の社会生活に必要なマナーやコミュニケーション等の学習を行います。

イ 夏季休業期間中などを利用した、継続的な職場見学やインターンシップ等を行います。

ウ 地域の特別支援学校、企業、労働関係機関等と連携して取組を進めます。

(4) 相互理解

学校の教育活動全体で、生徒同士の相互理解を深め、すべての生徒の「多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力」を育みます。

●具体的な取組

講演会やワークショップ等、多様性の尊重や共生社会等について、生徒が主体的に考える活動を行います。

インクルーシブ教育実践推進校における 特別募集による入学者選抜について

インクルーシブ教育実践推進校では、平成32年度（2020年度）4月入学生から、知的障がいのある生徒を対象とした、新たな特別募集による入学者選抜を実施します。

特別募集の対象となる生徒（予定）

知的障がいがあり、次の項目すべてに該当する生徒

- 学級集団での学習及び生活が可能な生徒
- 学校生活において、原則として常時の医療的な配慮を必要としない生徒
- 公共交通機関等を利用して、自力での通学や校外における学習活動への参加が可能な生徒
- 志願先のインクルーシブ教育実践推進校が実施する中高連携事業（学校説明会、授業見学会、学校行事等見学会）などへの参加をとおして、高校での学習や生活について理解し、入学の意欲のある生徒
- 入学後、将来の自立に向けて、学校生活に積極的に取り組む意欲のある生徒

特別募集の志願に向けて

平成31年（2019年）5月～9月

インクルーシブ教育実践推進校について十分に理解しながら進路先について検討していただくため、各高校の実施する「中高連携事業」に、必ず参加してください。

<中高連携事業>

- 学校説明会 … 高校での学習や生活全般について、説明を聞きます。
- 授業見学会 … 実際に、インクルーシブ教育実践推進校の授業や教室の様子を見学します。
- 学校行事等見学会 … 文化祭や体育祭などの学校行事を見学します。

特別募集の入学者選抜について（予定）

- 療育手帳などの手帳の有無は問いません。
- 各校の特別募集の定員は21名を予定しています。
- 入学者選抜では、面接検査を行います。（学力検査は実施しません。）

【お問合せ先】

神奈川県教育委員会教育局 インクルーシブ教育推進課 指導グループ
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j7d/index.html>
Tel045-285-1022